PPE+PS plastic welding rod,有限会社ティークラフト,R08-XX-YY-CC

# 安全データシート（SDS）

## 1. 化学品及び会社情報

- 製品名: PPE＋PS プラスチック溶接ロッド（PPE + PS plastic welding rod）
- 製品品番: R08-XX-YY-CC 他
- 推奨用途: 自動車ボディショップにおいてプラスチック部品を溶接するための業務用製品

供給者の会社名称、住所及び電話番号

- 供給者の会社名称: 有限会社ティークラフト
- 住所: 〒444-2134 愛知県岡崎市大樹寺 2 丁目 17 番地 3
- 担当部署: プラスチックリペア事業部
- 電話番号: 0564-28-5319
- 担当者: 田中

## 2. 危険有害性の要約

- GHS 分類:
  - 物理化学的危険性: 分類できない（常温では危険性なし）
  - 健康に対する有害性: 分類できない（常温では危険性なし。加熱時に煙や蒸気が上気道を刺激する可能性あり）
  - 環境に対する有害性: 分類できない
- 絵表示またはシンボル: 該当なし（Not Applicable）
- 注意換気語: 該当なし
- 危険有害性情報: 常温での使用において特段の危険性はありません。加熱・燃焼時は刺激性の煙やガス（炭化水素、スチレン、フェノール等）が発生します。
- 注意書き: 常温時は特になし。高温作業時は適切な換気および保護具を着用すること。溶接時には煙を吸い込まないこと。

## 3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別: 混合物
- 成分情報:
  - ポリフェニレンエーテル（PPE）: 含有量 70〜80%、CAS 番号: 25134-01-4
  - ポリスチレン（PS）: 含有量 20〜30%、CAS 番号: 9003-53-6

SDSR08PPE + PS プラスチック溶接ロッド.pdf

- カーボンブラック: 含有量 0.1〜1.0%、CAS 番号: 1333-86-4（※注：米国規制等への言及あり）

4. 応急処置

- 目に入った場合: 直ちに 15 分以上多量の水で洗い流すこと。刺激が続く場合は医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合: 常温の製品では接触しても危険ではないが、使用後は皮膚を清潔にすること。溶融したプラスチックが皮膚に接触した場合は、冷たい水で急冷すること。付着したプラスチックを無理に剥がそうとせず、熱傷の治療を受けること。
- 吸入した場合: プラスチックの溶融により発生した蒸気や煙を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動させること。症状が現れた場合は医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合: 物理的形態から通常の経口摂取による危険性は低いと考えられる。万が一飲み込んだ場合は、無理に嘔吐させず、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤: 水噴霧ミスト、現況に適した消火剤。
- 消火手順: 要員を退避させ、風上に保つこと。
- 消火作業者の保護: 自給式呼吸器（SCBA）および防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 漏出時の対応: 掃除して適切な容器（ゴミ箱等）に回収し、廃棄すること。下水道や水路へ流出させないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い: 子供の手の届かないところに保管すること。業務用のみとし、一般への販売を意図していない。産業衛生上の優良慣行に従い、十分な換気を行うこと。なお、粉砕、研磨、鋸引きなどの二次作業は粉塵爆発の危険をもたらす可能性があるため注意すること。
- 保管: 涼しく乾燥した場所に保管すること。過度の熱や発火源、熱のそばを避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 / 許容濃度: 設定なし
- 設備対策: 排気システムを介して溶接ヒューム（煙）を除去するとともに、職場に新鮮な空気を継続的に供給すること。粉砕・研磨等の二次作業時は十分な換気・集塵を行うこと。
- 保護具:
    - 呼吸用保護具: 通常の作業では不要。加熱・溶融時に煙や臭気が発生する場合や、換気が得られない場所で作業を行う場合は、溶接ヒューム等から保護するための適切な呼吸用保護具（国家検定合格品、または NIOSH 認定等の防毒マスク・防塵マスク等）を着用すること。
    - 手の保護具: 溶融した高熱樹脂の接触による熱傷、および高温になる溶接トーチ先（ノズル周辺）に直接触れて火傷をするのを防ぐため、加熱・溶融作業時は耐熱手袋（またはニトリル手袋等）を着用すること。
    - 眼・面の保護具: 切削・研磨時や、樹脂の飛散・削りかすが目に入るおそれがある場合は、サイドシールド付きの安全眼鏡またはゴーグルを着用すること.
- 衛生対策: 作業場で飲食をしないこと。喫煙や食事の前に手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観: 黒色樹脂製プラスチックロッド
- 臭い: 無し（または微臭）
- pH: 決まっていない
- 融点（軟化温度）: ある温度範囲で軟化する（約 245℃ / 475° F で押し出される）
- 比重（密度）: 1.11 g/cm³
- 溶解度: 水に不溶

10. 安定性と反応性

- 化学的安定性: 通常の使用条件下では安定。
- 避けるべき条件: 熱分解を避けるために過熱しないこと。
- 危険有害反応可能性: 危険な重合は起こらない。
- 危険な分解生成物: 炭化水素、スチレン、フェノール。

11. 有害性情報

- 毒性情報:
    - 経口摂取毒性: LD50（ラット）＞5000 mg/kg
    - 皮膚吸収: LD50（ウサギ）＞2000 mg/kg
    - 一般的に本物質は皮膚を刺激しない。高温時の溶融物は皮膚熱傷を引き起こす。加熱時のフュームは上気道や目を刺激する場合がある。

12. 環境影響情報

- 生態毒性: 地表水や下水・排水に放出しないこと。通常の使用条件下では環境への損傷は知られておらず、また予測されない。

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法: 可能な限りリサイクルが望ましい。現地の法規制（廃棄物処理法等）および地域の基準に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

- 輸送規制: 非該当（規制されていません）

15. 適用法令

- 労働安全衛生法（安衛法）: 固体の安定した高分子化合物（ポリマー）であるため、通常、安衛法の「通知対象物質（表示・文書交付義務）」に該当しない。（※微量含まれるカーボンブラックについても高分子マトリックス中に固定されているため、通常の固形状使用では対象外となります）
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）: 非該当
- 消防法: 固体の合成樹脂（プラスチック）であるため、危険物（第 4 類など）には該当しません。ただし、一定量以上をまとめて保管する場合、自治体の「火災予防条例」に基づく「指定可燃物（合成樹脂類）」に該当し、保管量の届出や防火上の制限を受ける場合があります。

16. その他の情報

- 参考文献:
    - パーツ供給元提供 SDS
    - GHS Hazcom 2012 / GHS 分類ガイダンス
    - JIS Z 7253 : 2019

- JIS Z 7252 : 2019

責任の限定について

この安全データシート（SDS）は、部品供給元から提供された情報等に基づき、JIS Z 7253 に準拠して作成しています。記載内容は現時点で入手できるデータに基づくものであり、将来の知見によって変更される場合があります。また、通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載した GHS 分類区分の算定根拠は、現時点における日本公表データ（NITE）です。